

平内町長 様

申請者 住 所
氏 名 ⑩
連絡先

老朽危険空き家管理状況及び放置理由等申告書

平内町老朽危険空き家除却促進事業補助金の交付申請にあたり、対象となる空き家等の管理状況及び放置に至った理由について、下記のとおり相違ないことを申告します。

なお、本申告内容に虚偽があることが判明した場合は、補助金の交付決定の取り消し、または返還命令に従うことに同意します。

記

1 建築物の基本情報

建築物の所有者	
申請者との続柄・関係性	
建築物の所在地	平内町大字 _____ 字 _____
所有者が建築物を取得した事由	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 売買・譲受 <input type="checkbox"/> 相続 <input type="checkbox"/> その他 [_____]
建築物を取得した時期	西暦（昭和・平成・令和） _____ 年頃
空き家となった事由	<input type="checkbox"/> 別に住居を建築・取得・賃貸借 <input type="checkbox"/> 居住者の転居 <input type="checkbox"/> 居住者の逝去 <input type="checkbox"/> その他 [_____]
空き家となった時期	西暦（昭和・平成・令和） _____ 年頃
放置されていた期間	_____ 年 _____ ヶ月

2 同一地区内等居住に関する確認

現在の居住地	<input type="checkbox"/> 町内（大字_____） <input type="checkbox"/> 町外
対象建築物との同一地区 又は隣接地区該当性	<input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 該当する
※同一地区又は隣接地区内に居住している場合で、除却が必要な特別な事情 （例：近隣への緊急的な危険性等） []	

3 これまでの管理状況 ※該当項目を選択・記入してください。

<input type="checkbox"/>	定期的な見回り	頻度：年 _____ 回程度
<input type="checkbox"/>	敷地内の除草・立木の伐採	頻度：年 _____ 回程度
<input type="checkbox"/>	冬期間の除雪	頻度：月 _____ 回程度
<input type="checkbox"/>	建物の一部修繕（屋根、窓、外壁 等の応急処置）	修繕箇所 []
<input type="checkbox"/>	不動産業者への売却・賃貸の相談	時期：_____ 年頃
<input type="checkbox"/>	親族間での利活用に向けた協議	時期：_____ 年頃
<input type="checkbox"/>	その他 []	

4 除却（解体）が困難であった理由

※現在まで除却が遅れた理由を具体的に選択・記入してください。

<input type="checkbox"/>	物品を保管するための倉庫又は物置として利用していたため。
<input type="checkbox"/>	所有権・相続に関する権利関係の整理に時間を要したため。
<input type="checkbox"/>	経済的な事情（解体費用の工面）により着手が困難であったため。 ※世帯全員が住民税非課税である場合や生活保護受給など ※ <u>当欄にチェックした場合、申請書に世帯全員の過去3年間の所得が確認できる資料（所得証明書等）を添付してください。</u>

□	遠方に居住しており、物理的な管理・処分が困難であったため。
□	その他 ※補足事項等がある場合もこちらに記入 []

5 意図的な放置の否定に関する申告

□	当該建築物の利活用または除却の意思決定を故意に回避し、単に資産の維持や解体費用の公的負担を待つ目的で放置した事実は一切ありません。
□	町からの適正管理に関する助言・指導を過去に受けていながら、正当な理由なくこれに従わず、危険な状態を助長させた事実は一切ありません。
□	物品の保管（倉庫又は物置としての利用）を主目的として継続利用し、居住の実態がないまま意図的に老朽化させた事実は一切ありません。
□	補助金の受給や固定資産税の減額のみを目的として、意図的に建物を損壊・放置させた事実は一切ありません。